

記者発表資料
令和3年10月14日
宮城県多賀城跡調査研究所研究班
担 当 村上裕次・矢内雅之
電 話 022-368-0102
現場携帯電話 090-3642-0324
tagajo_lab@pref.miyagi.lg.jp

多賀城跡第95次発掘調査現地説明会の開催について

当研究所の調査研究活動につきましては、日頃から御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当研究所では、令和3年度事業として、5月31日より多賀城跡第95次発掘調査を実施しております。

このたび、その成果がまとまり、10月23日の一般公開に先立ち、下記のとおり報道機関の皆様を対象に公開発表をいたしますので、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 報道機関公開 令和3年10月21日（木）（雨天決行）
午後1時30分から午後2時30分まで
一 般 公 開 令和3年10月23日（土）（小雨決行）
午前10時30分から正午まで

※ 新型コロナウイルス感染予防対策により、少々お待ちいただく場合があります。

- 2 会 場 多賀城市市川字大畑地内 多賀城跡第95次発掘調査現場
J R 東北本線 国府多賀城駅より徒歩25分（別添地図参照）

- 3 説 明 者 宮城県多賀城跡調査研究所 村上裕次 矢内雅之

- 4 調査内容 別紙資料参照

★ マスクの着用をお願いいたします。

多賀城跡第95次調査の成果について

調査の目的

特別史跡多賀城跡は、奈良・平安時代の陸奥国府跡です（724年～11世紀頃）。

宮城県多賀城跡調査研究所では、昭和44年以来、5ヵ年計画による発掘調査を計画的に実施し、多賀城跡の実態を解明する研究を進めています。今年度は、昨年度に続いて多賀城政庁北側の政庁地区北方を対象に第95次調査を実施しています。

政庁地区北方の調査は、これまで5次に渡って行なわれており、政庁第Ⅲ期（780～869年）以降に遺構が確認されるようになること、政庁第Ⅳ期（869年～11世紀前半）には政庁と一体的に機能した大型の掘立柱建物群「政庁北方建物」が認められるなど、政庁と関係を持つ地区であることが判明しています。今回の調査では、政庁の北西側を対象に、遺構の分布や構成等の把握を目的としています。

調査成果

政庁の北側で平安時代の大型の掘立柱建物を発見しました。

昨年の調査で一部を確認していたもので、今回の調査で建物の全体が明らかになりました。規模は南北6間（18.7m）、東西3間（9.6m）で建物の東辺と北辺には廂があります。規模の面では、多賀城内で確認されている平安時代の建物の中で、政庁を除くと2番目の大きさになります。また、建物は政庁に近接し、さらに政庁の建物配置計画に基づいた位置にあります。これらのことから、今回見つかった建物は政庁と密接な関係を持った建物と考えられます。



掘立柱建物の全景（東から：人が立っているのが柱の位置）



- 第95次調査説明会場
- 報道関係者用駐車場

多賀城跡第95次調査現地説明会場・報道関係者駐車場の位置